

日商簿記検定 3 級 第 2 回 模擬問題一解答一

第 1 問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	現金 現金	2,400 100	売掛金 現金過不足	2,400 100
2	手形貸付金	1,250,000	受取利息 当座預金	25,000 1,225,000
3	租税公課 引出金	30,000 60,000	現金	90,000
4	有価証券	1,080,000	未払金	1,080,000
5	旅費交通費	70,000	仮払 現金	63,000 7,000

[採点基準：各4点]

第 2 問 (20点)

①	②	③	④	⑤
総勘定元帳	得意先元帳	72,900	売 上	382,000
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
19,600	74,400	103,300	311,200	314,500

(別解) ②の「得意先元帳」は「売掛金元帳」でも可。

[採点基準：各2点]

第 3 問 (20点)

合 計 試 算 表

自：平成29年1月1日 至：平成29年1月31日 (単位：円)

借 方	勘 定 科 目	貸 方
950,900	現 金	547,600
785,300	当 座 預 金	283,500
267,100	受 取 手 形	138,200
648,400	売 掛 金	431,100
165,500	前 払 金	61,900
100,000	貸 付 金	
112,200	支 払 手 形	248,200
317,000	買 掛 金	539,100
89,900	前 受 金	173,300
6,200	預 り 金	11,900
20,000	借 入 金	50,000
	資 本 金	1,000,000
8,500	売 上	808,800
	受 取 利 息	3,600
634,100	仕 入	2,000
131,000	給 料	
2,400	(貸 倒 損 失)	
34,200	旅 費 交 通 費	
24,100	支 払 家 賃	
2,400	支 払 利 息	
4,299,200		4,299,200

[採点基準：□につき2点]

第 4 問 (10点)

①	②	③	④	⑤
貸借対照表	損益計算書	評価	入金	振替

[採点基準：各2点]

第 5 問 (30点)

精 算 表

(単位：円)

日商簿記検定 3 級 第 2 回 模擬問題一解説一

勘 定 科 目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	212,300						212,300	
当 座 預 金	285,300						285,300	
受 取 手 形	222,500						222,500	
売 掛 金	312,500		30,000				342,500	
前 払 金	82,000						82,000	
繰 越 商 品	285,800		312,500	285,800			312,500	
消 耗 品	8,000		16,000	8,000			16,000	
仮 払 金	240,000			240,000				
建 物	1,200,000						1,200,000	
備 品	600,000		240,000				840,000	
支 払 手 形		192,300		32,000				224,300
買 掛 金		200,300		48,000				248,300
前 受 金		71,000		30,000				101,000
借 入 金		(120,000)						120,000
貸 倒 引 当 金		1,650		15,300				16,950
建物減価償却累計額		520,000		40,000				560,000
備品減価償却累計額		285,000		63,750				348,750
資 本 金	1,800,000							1,800,000
売 上		1,373,650					1,373,650	
仕 入	863,500		80,000	943,500				
給 料	(189,300)					189,300		
保 険 料	36,000			15,000	21,000			
消 耗 品 費	24,000		8,000	16,000	16,000			
支 払 利 息	2,700		900		3,600			
	(4,563,900)	(4,563,900)						
売 上 原 価			285,800	312,500	916,800			
			943,500					
貸倒引当金繰入			15,300		15,300			
減 価 償 却 費			103,750		103,750			
(前 払) 保険料			15,000			15,000		
(未 払) 利 息				900			900	
当期純 (利 益)					107,900			107,900
			2,050,750	2,050,750	1,373,650	1,373,650	3,528,100	3,528,100

[採点基準：□につき2点]

第 1 問

- 現金の实地調査を行い、現金の実際有高と帳簿残高が一致していない場合には、未処理事項を処理することは当然のこと、当該不一致額につき仮勘定である現金過不足により処理する。なお、月末であり、決算ではないため、雑損又は雑益にはこの時点では振り替えない。
 - 実際有高：¥98,250 (紙幣・硬貨) + ¥26,250 (小切手) = ¥124,500
 - 帳簿残高：¥122,000 (帳簿残高) + ¥2,400 (未処理) = ¥124,400
 - 現金過不足：¥124,500 - ¥124,400 = ¥100
- 資金の貸付けに際して約束手形を受取っている場合には、貸付金の回収時に当該約束手形につき取立委任裏書を行い、銀行を通じて回収するため、通常の貸付金ではなく、手形貸付金を用いて処理する。
- 固定資産税の納付につき、事業の用に供している建物に係る部分については租税公課を用いるが、店主個人が負担すべき部分については引出金又は資本金を用いる。なお、勘定科目群の中に資本金が存在しないため、本間では引出金を用いる。
- 有価証券の購入に係る債務は、営業取引以外の取引であるため未払金により処理する。
- 従業員の出張旅費の概算払額は支払時に仮払金で計上し、旅費の支払額が確定した段階で旅費交通費として計上する。

第 2 問

- 勘定記入に関する問題であり、総勘定元帳と得意先元帳との関連性を考慮して解答する。なお、以下①～⑩は問題用紙の (①) ～ (⑩) に対応する。
- 取引の記録は、簿記上の取引が生じた際に行い、まず仕訳を仕訳帳に記録し、その後当該仕訳の内容を転記により、勘定の集合体である総勘定元帳に記録する。
 - 主要簿である総勘定元帳上、どの得意先にそれぞれいくら売掛金が存在しているかを示すことは出来ないため、その詳細として補助簿である得意先元帳により記録を行う。
 - 売掛金勘定の借方に計上されているため、売上による増加と判断し、得意先元帳の赤池商店の25日に計上されている売上げ¥72,900が解答となる。
 - 売掛金勘定の貸方に計上されているため、売掛金の回収 (現金・預金) 又は値引・返品による減少 (売掛金) と判断されるが、得意先元帳の赤池商店の12日に計上されているものが値引きであるため、売上が解答となる。
 - 相手勘定が当座預金のため、売掛金の回収と判断し、得意先元帳の赤池商店の18日回収高¥67,500と葦田商店の18日回収高¥314,500 (下記⑩) の合計¥382,000となる。
 - 売掛金勘定の貸方に計上されているため、売掛金の回収 (現金・預金) 又は値引・返品による減少 (売掛金) で判断でき、得意先元帳の葦田商店の27日に計上されている返品¥19,600が解答となる。
 - 得意先元帳の赤池商店の貸借差額により求める。よって、解答は¥150,100 (借方合計) - ¥75,700 (次月繰越を除く貸方合計) = ¥74,400となる。
 - 総勘定元帳の前月繰越¥180,500は赤池商店と葦田商店の前月繰越高の合計であることから、¥180,500 - ¥77,200 (赤池商店の前月繰越高) = ¥103,300が解答となる。
 - 得意先元帳の借方に計上されているため、売上による増加と判断し、総勘定元帳の8日に計上されている売上¥311,200が解答となる。
 - 得意先元帳の葦田商店の貸借差額により求める。よって、解答は¥414,500 (借方合計) - ¥100,000 (回収高を除く貸方合計) = ¥314,500となる。

売掛金			
5/1	前月繰越	180,500	5/12 (売 上) (8,200)
8	売 上	311,200	18 当座預金 (382,000)
25	(売 上) (72,900)		27 (売 上) (19,600)
			31 次月繰越 (154,800)
		(564,600)	(564,600)

赤池商店			
5/1	前月繰越	77,200	5/12 値引 8,200
25	売 上	72,900	18 回収 67,500
			31 次月繰越 (74,400)
		(150,100)	(150,100)

鞆田商店			
5/1	前月繰越	(103,300)	5/18 回収 (314,500)
8	売 上	(311,200)	27 返品 19,600
			31 次月繰越 80,400
		(414,500)	(414,500)

第 3 問

合計試算表の作成となっているため、総勘定元帳における各勘定の借方合計と貸方合計を一覧表にした試算表を作成する。なお、二重取引は網掛けにて示している。

<仕訳>

1. 現金取引

①	(借) 買掛金	302,500	(貸) 現 金	302,500
②	(借) 支払利息	2,400	(貸) 現 金	2,400
③	(借) 現 金	154,800	(貸) 売 上	154,800
④	(借) 旅費交通費	34,200	(貸) 現 金	34,200
⑤	(借) 前払金	63,200	(貸) 現 金	63,200
⑥	(借) 給 料	131,000	(貸) 預 り 金	5,700
			(〃) 現 金	125,300
⑦	(借) 貸付金	20,000	(貸) 現 金	20,000
⑧	(借) 現 金	420,200	(貸) 売 掛 金	420,200

2. 当座預金取引

①	(借) 当座預金	91,200	(貸) 前受金	91,200
②	(借) 借入金	20,000	(貸) 当座預金	20,000
③	(借) 当座預金	138,200	(貸) 受取手形	138,200
④	(借) 当座預金	3,600	(貸) 受取利息	3,600
⑤	(借) 支払手形	112,200	(貸) 当座預金	112,200
⑥	(借) 支払家賃	24,100	(貸) 当座預金	24,100
⑦	(借) 仕入	121,000	(貸) 当座預金	121,000
⑧	(借) 預り金	6,200	(貸) 当座預金	6,200

3. 商品仕入取引

①	(借) 仕 入	121,000	(貸) 当座預金	121,000
②	(借) 仕 入	326,800	(貸) 買掛金	326,800
③	(借) 仕 入	124,400	(貸) 支払手形	124,400
④	(借) 仕 入	61,900	(貸) 前払金	61,900
⑤	(借) 買掛金	2,000	(貸) 仕 入	2,000

4. 商品売上取引

①	(借) 現 金	154,800	(貸) 売 上	154,800
②	(借) 売掛金	421,500	(貸) 売 上	421,500
③	(借) 受取手形	142,600	(貸) 売 上	142,600
④	(借) 前受金	89,900	(貸) 売 上	89,900
⑤	(借) 売 上	8,500	(貸) 売掛金	8,500

5. その他の取引

①	(借) 上記 1 . ⑥ 参照		(貸)	
②	(借) 貸倒損失	2,400	(貸) 売掛金	2,400
③	(借) 買掛金	12,500	(貸) 支払手形	12,500

<勘定>

現 金		当座預金	
1/1 前月繰越	375,900	1/1 前月繰越	552,300
※ 売 上	154,800	2① 前受金	91,200
1⑧ 売掛金	420,200	2③ 受取手形	138,200
		2④ 受取利息	3,600
		(借方合計	785,300)
(借方合計	950,900)		
		2② 借入金	20,000
		2⑤ 支払手形	112,200
		2⑥ 支払家賃	24,100
		※ 仕 入	121,000
		2⑧ 預り金	6,200
		(貸方合計	283,500)
受取手形		売掛金	
1/1 前月繰越	124,500	1/1 前月繰越	226,900
4③ 売 上	142,600	4② 売 上	421,500
(借方合計	267,100)	(借方合計	648,400)
前払金		貸付金	
1/1 前月繰越	102,300	1/1 前月繰越	80,000
1⑤ 現 金	63,200	1⑦ 現 金	20,000
(借方合計	165,500)	(借方合計	100,000)
支払手形		買掛金	
2⑤ 当座預金	112,200	1① 現 金	302,500
		3⑤ 仕 入	2,000
		5③ 支払手形	12,500
(借方合計	112,200)	(借方合計	317,000)
前受金		預り金	
4④ 売 上	89,900	2⑧ 当座預金	6,200
		(借方合計	6,200)
(借方合計	89,900)		
		1/1 前月繰越	6,200
		1⑥ 給 料	5,700
		(貸方合計	11,900)

借入金				資本金			
2② 当座預金	20,000	1/1 前月繰越	50,000	1/1 前月繰越	1,000,000		
(借方合計)	20,000	(貸方合計)	50,000	(貸方合計)	1,000,000		
仕入				売上			
※ 当座預金	121,000	3⑤ 買掛金	2,000	4⑤ 売掛金	8,500	※ 現金	154,800
3② 買掛金	326,800			4② 売掛金	421,500	4③ 受取手形	142,600
3③ 支払手形	124,400			4④ 前受金	89,900		
3④ 前払金	61,900			(借方合計)	8,500	(貸方合計)	808,800
(借方合計)	634,100	(貸方合計)	2,000				
給料				受取利息			
1⑥ 諸口	131,000			2④ 当座預金	3,600		
(借方合計)	131,000			(貸方合計)	3,600		
貸倒損失				旅費交通費			
5② 売掛金	2,400			1④ 現金	34,200		
(借方合計)	2,400			(借方合計)	34,200		
支払家賃				支払利息			
2⑥ 当座預金	24,100			1② 現金	2,400		
(借方合計)	24,100			(借方合計)	2,400		

第 4 問

- 財務諸表のうち、一定時点の財政状態を示す報告書を貸借対照表といい、一定期間の経営成績を示す報告書を損益計算書という。
- 減価償却累計額勘定や貸倒引当金勘定を評価勘定といい、有形固定資産（建物、備品など）や債権（受取手形、売掛金）の資産価値を示すための勘定をいう。
- 3伝票制は、伝票会計において入金伝票、出金伝票、振替伝票の3つを用いる制度であり、現金収入がある取引には入金伝票、現金支出がある取引には出金伝票、現金収入・支出がない取引には振替伝票を用いる。

第 5 問

以下、精算表の修正記入の欄に記入される基礎となる決算整理仕訳を示す。

1. 決算日に判明した事項

(1) 手付金の誤記入

① 正しい仕訳

(借) 現 金	30,000	(貸) 前 受 金	30,000
---------	--------	-----------	--------

② 誤った仕訳

(借) 現 金	30,000	(貸) 売 掛 金	30,000
---------	--------	-----------	--------

③ 修正仕訳（修正記入）

(借) 売 掛 金	30,000	(貸) 前 受 金	30,000
-----------	--------	-----------	--------

(2) 仮払金の精算

(借) 備 品	240,000	(貸) 仮 払 金	240,000
---------	---------	-----------	---------

(3) 商品仕入

(借) 仕 入	80,000	(貸) 支 払 手 形	32,000
		(〃) 買 掛 金	48,000

2. 決算整理事項

(1) 売上原価の算定

問題の指示より、売上原価の算定は売上原価勘定で行うこと。

(借) 売 上 原 価	285,800	(貸) 繰 越 商 品	285,800
(借) 売 上 原 価	943,500	(貸) 仕 入	943,500
(借) 繰 越 商 品	312,500	(貸) 売 上 原 価	312,500

※ 仕入：¥863,500（残高T/B仕入）＋¥80,000（上記1. (3)）＝¥943,500

(2) 貸倒引当金の設定

未処理事項により売掛金が増減していることに留意すること。

(借) 貸 倒 引 当 金 繰 入	15,300	(貸) 貸 倒 引 当 金	15,300
-------------------	--------	---------------	--------

※ { ¥222,500（残高T/B受取手形）＋¥312,500（残高T/B売掛金）＋¥30,000（上記1. (1)）} × 3% = ¥1,650
（残高T/B貸倒引当金）＝ ¥15,300

(3) 減価償却

備品の一部につき、当期に取得しているため月割計算を行うこととし、取得月の翌月より使用を開始していることに留意すること。

(借) 減 価 償 却 費	103,750	(貸) 建 物 減 価 償 却 累 計 額	40,000
		(〃) 備 品 減 価 償 却 累 計 額	63,750

※ 減価償却費

① 建物：¥1,200,000（残高T/B建物）÷ 30年 = ¥40,000

② 備品

i 期中取得分：¥240,000（上記1. (2)）× 0.9 ÷ 8年 × 3か月（平成28年10月～12月）/ 12か月 = ¥6,750

ii 既存保有分：¥600,000（残高T/B備品）× 0.95 ÷ 10年 = ¥57,000

iii i + ii = ¥63,750

(4) 消耗品

前期末未使用分は、全額消耗品から消耗品費に振り替え、当期末未使用分は消耗品費から消耗品に振り替える。

(借) 消 耗 品 費	8,000	(貸) 消 耗 品	8,000
(借) 消 耗 品	16,000	(貸) 消 耗 品 費	16,000

(5) 保険料

(借) 前 払 保 険 料	15,000	(貸) 保 険 料	15,000
---------------	--------	-----------	--------

※ $¥36,000$ (残高T/B保険料) $\times 5$ か月 (平成29年1月~5月) /12か月 = $¥15,000$

(6) 利息の見越計上

① 借入金の推定

支払利息より借入金を推定し、貸借差額により残高試算表の給料の金額を算出する。

$¥2,700$ (残高T/B支払利息) $\times 12$ か月 /9か月 (平成28年1月~9月) $\div 3\% = ¥120,000$

② 見越計上

(借) 支 払 利 息	900	(貸) 未 払 利 息	900
-------------	-----	-------------	-----

※ $¥120,000$ (残高T/B借入金、上記①) $\times 3\% \times 3$ か月 (平成28年10月~12月) /12か月 = $¥900$

3名の税理士試験合格者を輩出!!

熊本県立八代東高等学校 久保 亮太(22歳)
 熊本県立八代東高等学校 岩根 佳輝(22歳)
 熊本県立熊本商業高等学校 鳩野 祐士(21歳)

日商 1 級・全経上級合格者

59名/67名 (88.1%) ※当校卒業生の合格率です。

**税理士試験
科目合格者**

4科目… 4名
 3科目… 6名
 2科目… 20名
 1科目… 7名

開校4年で
この実績!!